

# 灯



北京秋天という名画がある。

一九〇〇年代前半、ルノワールに師事したという洋画家梅原龍三郎画伯の代表作だ。

先般、わが校初の海外修学旅行の引率で北京を訪れた際、まさにその言葉通りの見事な青空に巡り合った。最近の北京はオリンピック準備のための多くの工事や、経済発展に伴う大気汚染の進行などによって青く澄んだ空は極めて珍しいという。真に幸運であった。

五年前までは高校生海外修学旅行の行き先第一位が中国であったが、サースの問題や反日デモの影響で大幅に落ち込み、最近ようやく回復しつつあると聞

いている。

わが校も六年前から計画していたがなかなか実現できず、今年ようやく実現したもので、生徒と一緒に北京空港に降り立った際は感慨深いものがあった。今回は北京にある六つの世界

## 天～秋～北京～ 旅行修学



草野 義輔

遺産のうち四つを見学し、最終日には北京市第66中学との交流会を行った。

初の国際交流会なので私自身も緊張してあいさつを済ませたが、代表生徒の英語でのあいさつは中国の生徒に引けを取らな

いレベルでできた。

部門別の全員交流会は言葉の壁があり果たしてどの程度交流ができるか心配であったが、若い世代の方がよけいなことを考えず自然体でやれるようで、思いのほかうち解け、良い雰囲気の中で瞬く間に予定の時間が来てしまった。

中国という国に対する見方や考え方はさまざまだが、アジア、そして世界を見たとき、次代を支える若い世代が自分の目で中国という国を見て、体験しておくことは非常に大切なことだと考えている。生徒たちが今回の経験をどう生かしてくれるか、答えが出るにはしばらく時間が必要だろう。北京秋天、恵まれた旅行であった。

(日田市昭利学園高校理事長)